行政書士

間島　博英

MAJIMA HIROHIDE

1981年 大阪府出身
2018年 間島行政書士事務所を開業

行政書士として事務所を構え7年目になるという間島博英さん。現在の鏡町の事務所から、6月末には自宅のある豊町の新事務所へ移転する予定だ。行政書士は、主に国や地方自治体などの官公署に提出する行政書類を作成する仕事。最近では農地転用許可申請や相続に関する相談も多いそうで、さまざまな許可や申請、契約書の作成等に携わっている。

縁あって柏崎で行政書士事務所を開業した間島さんは一般社団法人柏崎青年会議所に入会した。2021年に理事長を務め、県内のJC団体が集う「新潟ブロック大会」を27年ぶりに柏崎で開催。橋下徹さんの講演会を企画し実現させたことも記憶に新しい。2年前からは柏崎市移住・定住推進パートナーチームのリーダーとして抜擢され、現在も活躍中だ。

柏崎市移住・定住推進パートナーチームは、行政と民間が連携して移住・定住へ取り組むために設置されたもの。7名のメンバーは柏崎市とリーダーである間島さんが選任。1年目はメンバーとともに施策をまとめた提案を行い、移住の経験を基にコンシェルジュとして相談にも応じている。そして、移住を検討している方へ向けたマッチングサイト「くじらと。」を作成。オンラインイベントを開催したり、インスタグラム等で発信したりすることも大切な役割だと感じている。3年目となる今年は、移住を検討している方にとって重要な就職先、受入側の地元企業を増やすことやコミュニティ作りの強化を目標にしている。他にも柏崎にある2大学との連携やお試し体験移住など企画は目白押し。「くじらと。」のサイト内、移住者を受け入れる地元企業の紹介ページはリーダーの間島さんを中心にメンバーが取材し記事にしたもので、多くの企業からの賛同をお願いしたいと話している。

間島さんといえば、インスタグラム等で話題の「カツ丼まじしるべ」が人気となっている。「まじしるべ」とは、間島さんのニックネーム「まじー」とJCの「まちしるべ事業」の「しるべ（標）」を合わせた造語。カツ丼好きの間島さんが地元のカツ丼提供店43店舗を食べ尽くし、柏崎刈羽を盛りあげていこうというもの。柏崎エリアのお店情報を一覧できるアプリ「かしチケ」とのコラボレーションもあり、現在は3周回目。LINEグループを作り、間島さんと一緒にカツ丼を食べたいと活動する人も増えているそうだ。

さらに今年、新しく始めたのはYouTube。高柳ガルルのスキー場で初めてスノーボードを体験したり、八石山で雪山登山に挑戦したり。柏崎の遊べるスポットを自ら体を張って紹介していく。今後も「まじー」の活躍に目が離せなくなりそうだ。

お問い合わせ
間島行政書士事務所 ☎0257-38-9029

ホームページ　YouTube　Instagram